



まりやま団地寿楽会の花壇



令和5年11月1日

編集発行
土浦市六中地区市民委員会
文化広報部
土浦市六中地区公民館
土浦市烏山二丁目2346-1
TEL 842-3585
FAX 842-3509

「まちづくりの実践を たたえる表彰」受賞

大岩田団地地区長 戸塚 葉子

大岩田団地にお住まいの瀧島静枝さん、羽成清子さん、笹沼秀夫さんは、長年にわたり団地敷地内の清掃、草刈、樹木の剪定、花壇の手入れ、ゴミ集積所の片づけなどの環境美化活動を行っています。活動はメンバー居住の棟周辺だけでなく、自治会や他棟住民の要望も積極的に反映し、敷地内だけでなく周辺の環境美化に多大な貢献しています。皆さまは、「対価が欲しいわけではない、自分の健康のためにやっているだけ、汚くなっている場所を見過ぎすことはできない」とおっしゃいます。本当に頭が下がる思いです。

常日頃、皆さまのことを、多くの方に知っていただき、感謝の気持ちを何かの形でお伝えできないものか、と考えておりましたが、この度、その活動が認められ、今年度の土浦市まちづくり市民会議（市民活動課内）主催の「まちづくりの実践をたたえる表彰」に「大岩田団地環境美化ボランティア」として選出され、表彰されました。

積年の思いが叶えられたことに安堵いたしております。
これからお元気で、ご無理なさらず活動が続けて下さいますよう、ご祈念申し上げます。

花いっぱい運動「まちづくり 市民会議議長賞」受賞

まりやま団地地区長 相澤 修

まりやま団地寿楽会は、まりやま団地に入居居住が始まった昭和四十六年から三年経過した四十九年九月十五日に、当時の先輩方（六十歳代）が新しい環境に馴染めない状況を変え、親睦と融和を図るために二十四名で発足しました。来年九月には節目の五十周年を迎えます。現在の会員数は、男性三十三名、女性二十名計五十三名となっています。寿楽会の活動は、毎月の役員会・会報発行、更に花壇整備、町内のグリーン活動、親睦会やバス研修会、グラウンド・ゴルフ大会、出前講座の開催等を主に実施しています。

地域全体を美しくする環境美化の一環として活動している花壇整備と町内クリーン活動ですが、花壇整備は月一回中耕や花の切り戻し作業等を計画的に実施しています。また、花壇整備の活性化を目的に有志を募り、毎週月曜日朝、花壇の除草や花殻摘み等の作業を行っています。花いっぱい運動コ



～町内クリーン活動～

ンクールには毎年参加しています。町内を奇麗にするためのクリーン活動では、空

家周辺道路・側溝等の清掃作業を年三回行っています。

親睦会には、多くの会員が参加でき

るように、DVD・ユーチューブ等を活用して漫才や落語、歌謡等の鑑賞を行い、またビンゴゲームなども行っています。

ウイズコロナ下における活動や会員の高齢化等々課題はありますが、出来るだけ多くの方が家から出て楽しい時間が過ごせるように取り組んでいます。

～環境整備～



六中地区公民館新任紹介



片岡 寛
今年4月の人事異動により公民館主事として着任し

ました片岡と申します。六中地区公民館が利用されるみなさまの生涯学習の場として、また、地域活動の拠点として親しみやすい場所となるように力を尽くしていきたいと思っております。少しでもお役に立てると幸いです。どうぞよろしくお願

いたします。



稲田 弘之
この4月に公民館指導員として着任しました。青少

年育成部とチャレンジクラブを担当します。子どもたちがさまざまな体験を通して自ら成長できるように、地域の皆様と力を合わせて支援していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



大野 早弥香
今年4月に社会福祉協議会南部支部に着任しました

大野と申します。着任前は公民館への異動に不安を感じていましたが、地域の皆様に温かく迎えて頂き、業務に励んでおります。お役に立てるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

新任地区長紹介



右舩四区
田尻 純雄
我が地区も夏祭り

が四年ぶりに開催されました。年々子供達が減ってはいるものの太鼓や笛の練習がスタートし、本番では山車に乗り楽し

そうに町内を巡りました。大変ではありますが親子共に良い思い出になることと思えます。



まりやま新町
三浦 憲治
長い間地区長を

務められた早乙女様の後を引き継ぎ、今年度から地区長を務めさせていただきます。今まで目指してきた安全で楽しい街づくりに励みます。ご協力よろしくお願



小岩田町会
菊地 廣輝
コロナやロシア

の侵略による地域経済への悪影響が解消され、元気な日本が早く戻ることを願います。町会においては、住民が一丸となって安心安全で活力ある町作りに邁進致しますので、皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



鳥山一丁目
山本 真也
今年度より地区

長を務めることとなりました。先輩方々が46年間も盛り上げられ、繋いでこられた鳥山1丁目町内会をみなさんと一緒に盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願



霞ヶ岡町
根本 邦義
令和5年度から

地区長を務めることとなりました。厳しいコロナ禍以前に戻すべく、一歩ずつ町内行事を通じて親睦と融和を図り住み良い町でありますよう努力してまいります。よろしくお願



大岩田一区
酒井 孝治
今年度より地区

長を務めることになりました。新人ですので、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、皆様方のご協力を頂きながら地域活動に携わっていききたいと思っております。よろしくお願



大岩田二区
長谷部 勝弘
今年度、地区長

を務めさせていただきます。微力ながら、だく事になりました。お年寄りや子どもたちが安全に、快適に暮らすことのできる町づくりに、みなさまとともに努力して行きたいと思っております。また、コロナも徐々に治まりつつあり、地区の活性化も期待するところです。とにかく、住みよい町づくりがモットーです。どうぞ宜しく御願

市民委員会専門部会 各部の活動報告

スポーツ健康部

部長 稲毛 芳博

令和5年度は、コロナウイルス感染症も5類相当となり日々影響も軽くなつて来ていますが、年後半に向けてまだまだ安心できない状況です。

今後の取り組みとしては、スポーツ協会との共催事業（六中地区歩く会、体力測定等）の協力、文化祭の参加協力及び公民館からの要請に対応して取り組んでいければと思います。

安全部

部長 五頭 孝司

5月8日から新型コロナウイルスが5類への引き下げとなり、これまで中止となっていた催し物が再開できる事で大変喜ばしく思います。

安全部としては、他の専門部との調整、各地域の安全部の皆様の協力を得ながら催し物の際の駐車場への案内や、道路横断時の安全確保をしてまいります。

また、環境部の花室川堤清掃時の際は、車両誘導も行いますので、通行の際はご不便をおかけする事もあるかと思いますが、ご協力をお願い致します。

青少年育成部

部長 酒井 理志

令和5年度の青少年育成部の事業計画は、年10回のチャレンジクラブ事業の協力や、サタデーイベントの企画運営を行っていきます。

・5月 開講式、シュロの葉工作、いも・スイカ・野菜苗植え

・6月 座禅体験

・7月 カヌー・ドラゴンボート

・8月 森林・林業体験・スイカ収穫

・9月 バルーンアート・サツマイモ掘り

5月・6月・7月は以上の事業を15名のクラブ員と実施しました。他は上半期の事業予定です。クラブ員の楽しそうな笑顔を見て嬉しく思いました。今後も様々な事にチャレンジして、楽しい一年にしたいと思います。

環境部

部長 塚原 重雄

令和5年度の活動についてご紹介します。

一 公民館美化活動

・ 公民館花壇花苗植え

二 公民館美化活動

・ 公民館花壇の除草作業

三 第18回土浦市環境展への参加

・ 10月7日（土）霞ヶ浦文化体育館

四 公民館文化祭

・ 10月29日

五 公民館美化活動

・ 公民館花壇花苗植え

六 花室川清掃

昨年度の花室川堤清掃に大勢の方々が、ご協力していただきありがとうございました。今年度も大勢の方々のご協力をお願いいたします。

福祉部

部長 渋谷 紀子

令和5年度の福祉部の事業予定をご報告いたします。

10月29日（日）に開催されます「公民館文化祭」では、福祉の店「ポプラ」を出店のお手伝いをいたします。新型コロナウイルスの影響で文化祭が中止になる前はバザーを担当しておりましたが、今年度もバザーの開催は難しいということで、バザーではなく、福祉の店での販売となります。

11月下旬から12月に福祉講演会開催を予定しております。昨年度久しぶりに、健康講座（おてがる筋力チェック）を開催し、皆様とても楽しそうな様子でした。今年度も軽く運動できる健康講座を予定しております。申込みのチラシが回覧されます。皆様のご参加をお待ちしております。事業は少しずつですが増えております。皆様のご協力、ご参加宜しくお願い致します。

サタデーイベント 「親子でおいしい料理教室」

令和5年2月に「親子でおいしい料理教室」を開催しました。

サタデーイベントは、約20年前になります。学校週休2日制のスタートに伴い始まった事業で、その後のチャレンジクラブ事業の礎となりました。以来、六中地区では継続して行ってきた事業ですが、ご多分に漏れず新型コロナウイルスの影響で実施が見送られてきておりました。このような状況でしたが、感染拡大の状況を見ながら、人数を減らすなど感染対策を講じて久しぶりに再開することができました。

今年度も青少年育成部を中心に開催を予定しています。ぜひ学校外の地域活動の一つとして参加してみてください。



スポーツ少年団紹介

〔烏山ブラック〕

代表 横山 康由

スポーツ少年団「烏山ブラック」の紹介をさせていただきます。

烏山ブラックは50年以上続いている少年野球チームです。

活動内容としては、基本的には土、日曜日に大岩田小学校の校庭で半日の活動となります。

現在の団員は16名で運営としては、代表、監督、コーチ2名にお手伝い可能な保護者の協力を得て活動しております。

近年、少子化もあり近隣の少年野球チームも年々減ってきています。

烏山ブラックは、子供が野球をしたいのに親が大変だからやらせられないというのを少しでも抑えるために、あえて当番制は設けずに協力して頂ける父兄の方々に支えられて円滑に活動ができています。

また、ユニホームについても、かっこいいデザインユニホームをお店に頼んでいるチームがほとんどですが、烏山ブラックは白の練習着にワッペンを付けた手作り感満載のユニホームで活動しています。

これは、なるべくお金をかけないようにすること、入団したばかりの子供がすぐにみんなと同じかっこうで試合や練習ができるようにする

ためです。

このように烏山ブラックは、子供を第一に考えて活動をしております。

この記事を読んで烏山ブラックで野球をやりたい、やらせたいと思う方がいれば是非一緒に野球をしましょう。お待ちしております。

〔土浦建武館〕

館長 満生 博

土浦建武館は、昭和45年 初代館長 遠藤藤寿が創設、2代目 渡部 至 3代目 増尾利之 4代目 木村 茂に継承され、令和2年3月から私 満生 博が、5代目館長として土浦建武館を引き継ぎ、青少年の育成に努めております。

御陰様で、令和2年8月に土浦建武館 創立50周年を迎え記念誌を発売致しました。土浦建武館（以下、建武館）の指導理念は、初代館長 遠藤藤寿先生が提唱された「剣心」すなわち「それ剣は人なり、心正しからざれば剣また正しからず、須く剣を学ばんと欲すれば先ず心より学ぶべし」（剣豪 島田虎之助）であります。また、剣道における一番の教えは、「その時、その場所、今できることを「全魂」を投じてやれ」ということであり、歴代館長に受け継がれ現在に至っているものと確信しております。

建武館は、地区の自衛消防施設の拡充のため、地区側のご努力により鹿島神社境内内の敷地が貸与され、昭和58年に移設完成しました。当時は、剣道が月・水・金・土日（朝稽古）（青少年約50名）、居合道が火・木（大人約12名）で、遠藤館長が剣道と居合道を毎日指導され、大変盛況で賑やかな状況であったことが記録されております。

居合道部は、毎年春、山形県村山市にある、「林崎甚助重信がこの社に祈願し剣術を磨いた」日本一社林崎居合神社を訪ねるのが恒例行事だったようです。

現在の建武館の稽古は、剣道が月・水・金・土（青少年中学生を含み約12名）、居合道が休止状態であり、ここ数年コロナ禍での稽古自粛と相俟って大人の活動も含めて静かな状況が続いております。

各種大会は、茨城県剣道連盟主催をはじめ各地区の道場主催の剣道大会が、年間約15回から20回有り、できる限り参加するようにしております。特に近年の特徴として大会の団体戦の5人制から3人制への移行が顕著になっております。その中でスポーツ少年団の県大会の土浦代表に選出される者も出てきております。



少子高齢化は、剣道道場を継承していくうえでも決して他人ごとではありません。

今後は、「土浦建武館創立50周年記念」を機に、初代館長（遠藤藤寿先生）の教えを再確認しつつ、次の世代に伝承していく必要があります。少人数になりつつある貴重な青少年、どのような境遇にあるのかかわらない青少年であつても分け隔てなく接し、剣道を修行している時も、建武館を卒業した後も「建武館で剣道を学んで良かったなあ」と思えるように青少年を育成するとともに、「師弟同行」共に歩んでいきたいと考えております。



野球、サッカー、バドミントン、ラグビー及びバスケットボール等、素晴らしいスポーツはたくさんあります。剣道は、日本古来の武道であり、前記したスポーツ同様、青少年の体力・気力の健全な育成に貢献できるものであると信じております。

近隣にお住いの皆様、剣道など、見たことも、やったこともない方、お子様・お孫様に剣道はどうかと関心のある皆様どなたでも歓迎致します。右衽神社の境内の一角にある土浦建武館を訪ねて頂ければ幸いです。

チャレンジングクラブ活動報告

令和五年度のチャレンジングクラブは、様々な体験活動を通して、協力することの大切さを学んだり、地域の自然とかわり環境について学んだりしながら、土浦の魅力やよさを知り、自分たちが住んでいる土浦を大切にしていこうとする心を育てることを目的として活動しています。今年度も市民委員会 青少年育成部の方々のご支援により、子どもたちが安全に楽しく活動できております。

前期の活動は、五月二十七日の開講式に始まり、「工作体験・苗植え体験」、「坐禅体験」、「カヌー体験」、「森林・林業体験」、「バルーンアート体験」の五回活動しました。主な活動について紹介します。

●開講式（五月二十七日）

開講式では、子どもたち一人一人が呼名され、チャレンジングクラブの一員としてスタートしました。また、市民委員会の石毛委員長と青少年育成部の酒井部長から激励のお言葉をいただき、今年度の活動への意欲を高めることができました。その後、三つのグループに分かれ、自己紹介を行い、班長などを決めました。



開講式での石毛委員長の話



森のつくりの説明を聞く子どもたち

●森林・林業体験（八月二十七日）

第四回は、那珂市の県民の森において「森林・林業体験」を行いました。熱中症対策として、内容を少し変更し、①キノコ博士館の見学、②森のつくりや樹木のお話、③ネーチャードゲーム、④アスレチックでの遊び、⑤プランターづくりを行いました。子どもたちは、蒸し暑い中でも担当の先生の話をよく聞いて、楽しく活動できました。

同好会だより

草花「ワクワクガーデニング」

副代表 薄衣 トキ子

ガーデニングは楽しい。葉を広げつぼみがふくらみ、花が咲いたときはこの上ない幸せ感を味わう。「すてきな花や庭をつくりたい。」と願う15人の会員と、講師熊澤先生が第一月曜日の午後集う。

テーマはみんなで決めるので、興味深いものばかりだ。



- ・寄せ植え
 - ・バラの栽培
 - ・多肉植物
 - ・苔玉
 - ・テラリウム
 - ・フレグランス
 - ・さし木さし芽
 - ・各種アレンジメント
 - ・フェステバルの見学
- その他に、ボランテニアで水郷公園の花壇の一つを、一年を通して植栽をしている。

各会員が育てた苗や種や球根を持ち寄って交換したり、栽培のアイデアを教え合うのも楽しい。ガーデニングは世話の仕方だけでなく、自然環境に大きく左右されるので、とても難しい。うまくいかないことがあり、思いがけない成功もある。「今度はどんな庭づくりをしようかな。このワクワクする気持ち、日々の生活を充実させてくれる。ガーデニングは終わりがなく楽しい。」

令和5年度 前期講座

そば粉で簡単!ガレット作るう

講師：小見ひろみ
受講者：12名



着物リメイク

講師：國友康代
受講者：14名



初夏に始めるクラフトバンド

講師：富田留美
受講者：12名



踊ろう!よさこいソーラン

講師：高野道子
受講者：12名



温活ストレッチ

講師：鴻田良枝
受講者：12名



アロマの効果で夏をのりきろう

講師：小神野雅子
受講者：10名



六中地区公民館同好会一覧表

令和5年8月現在

Table with 4 columns: 同好会名, 種別, 活動日時. Rows 1-25 listing various clubs like 東会, マナ・フラ, ジュンバリーナ, etc.

Table with 4 columns: 同好会名, 種別, 活動日時. Rows 26-50 listing various clubs like 六公ノルディック, ウォーキング&ゆつくりジョギング, etc.

令和5年度 六中地区市民委員会役員一覧

委員長

石毛 一美 (鳥山二丁目)

副委員長

遠藤 三郎 (右粉三区)
大久保栄二 (小岩田東二丁目)
塚本寿美子 (民生児童委員協議会会長)

監事

村山 映三 (右粉一区)
宇津野 進 (小岩田西一丁目)

地区長

遠藤 繁夫 (右粉二区)
田尻 純雄 (右粉四区)
小口 範男 (右粉五区)
相澤 修 (まりやま団地)
三浦 憲治 (まりやま新町)
菊地 広輝 (小岩田町会)
山本 真也 (鳥山一丁目)
青山 良夫 (鳥山町内会)
根本 邦義 (霞ヶ岡町)

酒井 孝治 (大岩田一区)
長谷部勝弘 (大岩田二区)
戸塚 葉子 (大岩田団地)

学校長・PTA会長

大森 弘 (土浦第六中学校長)
永井 厚 (大岩田小学校長)
中山 弘 (右粉小学校長)
居城美奈子 (大岩田小PTA会長)
小室 亜季 (右粉小PTA会長)
片岡 秀昭 (土浦第六中PTA会長)

各種団体長

梶間香寿枝 (若小地区区育連会長)
武田 光子 (右小地区区育連会長)
菅谷かつ江 (青少年相談員代表)
鈴木徳次郎 (地区保護司会代表)
今高 博子 (六好会会長)

専門部長

渋谷 紀子 (福祉部)
五頭 孝司 (安全部)
稲毛 芳博 (スポーツ健康部)
塚原 重雄 (環境部)
林 和美 (文化広報部)
酒井 理志 (青少年育成部)

事務局

村山 正徳 (六中地区コミュニティセンター所長)
片岡 寛 (六中地区コミュニティセンター主任)
稲田 弘之 (六中地区コミュニティセンター指導員)
大野早弥香 (社会福祉協議会南部支部主事)

編集後記

文化広報部長 林 和美

広報紙「つと い」も第六十六号を発行する事になりました。
今年の夏は新型コロナウイルスの感染症状上の位置づけが引き下げられいづも通りの夏になるかと思いましたが猛暑日・酷暑日が続くとても暑い夏になりました。この先どうなるのか不安なのは私だけでしょうか？

今回の編集にあたりご協力をいただいた皆様にお礼申し上げますとともに、文化広報部員をご紹介します

- 松田 均・鶴町友之・池田 純
吉田 晃・中島寿美枝・君崎洋一
大川美奈・中郡雅光・長井克子
北尾宏史・大久保真弓・中込誠治
酒井一男・柴山邦寿・小出正幸
長谷川美和子

■新書 図書案内

Table with 2 columns: Book Title, Author. Rows include 'おいしいごはんが食べられますように', 'メメントモリ', 'くもをさがす', etc.



環境に配慮し、再生紙・植物油インキを使用しています。